
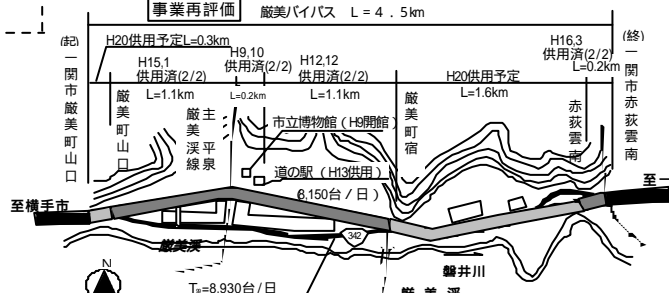


再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道342号 一般国道 岩手県 一関市 岩手県 一関市 赤雲南	事業区分	一般国道	事業主体	岩手県								
起終点	自：岩手県一関市 岩手県 一関市 赤雲南 至：岩手県一関市 岩手県 一関市 赤雲南	延長	4.5km										
事業概要													
一般国道342号は、秋田県横手市を起点とし、十文字町・一関市・中田町を經由して宮城県津山町に至る総延長160kmの幹線道路である。巖美バイパスは、幅員狭小、線形不良の隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長4.5kmの2車線道路である。													
H7年度事業化	都市計画決定なし	H8年度用地着手	H9年度工事着手										
全体事業費	4.2億円	事業進捗率	70%	供用済延長	2.5km								
計画交通量	8,930台/日												
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.3 (残事業) 8.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 14/52億円 事業費：11/45億円 維持管理費：3/7億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 121/172億円 走行時間短縮便益：99/140億円 走行費用減少便益：23/32億円 交通事故減少便益：0/0億円	基準年 平成16年									
感度分析の結果													
交通量変動 B/C=13.8 (交通量+10%) B/C=3.1 (交通量-10%) (残事業を対象) 事業量変動 B/C=8.0 (事業費-10%) B/C=9.5 (事業費+10%)													
事業の効果等													
<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（高速交通機関（一ノ関駅、一関IC）へのアクセス向上） 個性ある地域の形成（主要観光地（巖美溪、栗駒国定公園等）へのアクセス向上） 他9項目に該当 													
関係する地方公共団体等の意見													
一般国道342号巖美バイパスは、地域間交流の促進、観光地へのアクセス向上等の重要な役割を果たすものと期待されており、国道342号整備促進同盟会より要望（平成16年10月26日）がなされている。													
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等													
平成9年度に市立博物館、平成13年度に道の駅が整備されたことから、当該路線の重要性が高まっている。													
事業の進捗状況、残事業の内容等													
起点側のBP区間については平成15年度までに2.4km供用している。残る区間については用地取得を先行し、平成17年以降に工事着手する予定である。													
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等													
終点側の用地取得は一部用地補償協議が難航したものの概ね完了している。今後は事業費の集中的な投資を図り、平成20年度に全線供用を予定している。													
施設の構造や工法の変更等													
他事業(県砂防事業)との工程調整により、建設発生土を盛土材に利用し、コスト縮減を図っている。													
対応方針													
事業継続													
対応方針決定の理由													
以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。													
事業概要図													
 <p>位置図 岩手県 R342巖美BP</p>	 <p style="text-align: center;">事業再評価 巖美バイパス L=4.5km</p> <p style="text-align: center;">T=8,930台/日</p> <p style="text-align: right;">至一関市内</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">凡例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 20px; background-color: #cccccc;"></td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; border: 1px solid black;"></td> <td>再評価箇所</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; background-color: #e0e0e0;"></td> <td>うち供用済み</td> </tr> </tbody> </table>					凡例			供用中		再評価箇所		うち供用済み
凡例													
	供用中												
	再評価箇所												
	うち供用済み												

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。